

さんのへ 議会だより

温故館をおおう 満開の桜

第180号（令和元年5月28日号）

平成31年度予算	2
三戸人ピックアップ特集	6
一般質問	7
議案審議	12
議員活動レポート	13
行政視察報告	14

予算 審査

平成31年度 一般会計予算 「59億532万円の使いみちを適切と認定」

※本誌では議案に合わせて「平成」で表記しています。

平成31年2月28日から3月7日まで、第480回定例会を開催しました。会期中、平成31年度予算案を、議員全員による予算特別委員会（澤田道憲委員長）を設置して審査し、一般会計ほか7会計すべての使いみちを適切と認定しました。

新年度事業の一部紹介

町制施行130周年記念式典開催費等 567万円
～ 式典や祝賀会などを開催 ～



地域商社運営支援事業 2,975万円
～ 地域商社による地場産品の開発・販売 ～



橋梁、道路構造物等点検事業 2,804万円
～ 泉橋ほか21か所の橋梁点検、長寿命化計画策定委託料 ～



鳥獣対策総合事業 332万円
～ 鳥獣被害対策実施隊活動費や隊員増のための免許取得への補助 ～



ラッピング電車運行事業 463万円
～ 11ぴきのねこラッピング電車の運行 ～



町道改良舗装事業 5,954万円
～ 町道川守田裏通り線などの改良舗装工事 ～



消防屯所・ポンプ自動車整備事業 5,620万円
～ 屯所の新設工事やポンプ車の購入 ～

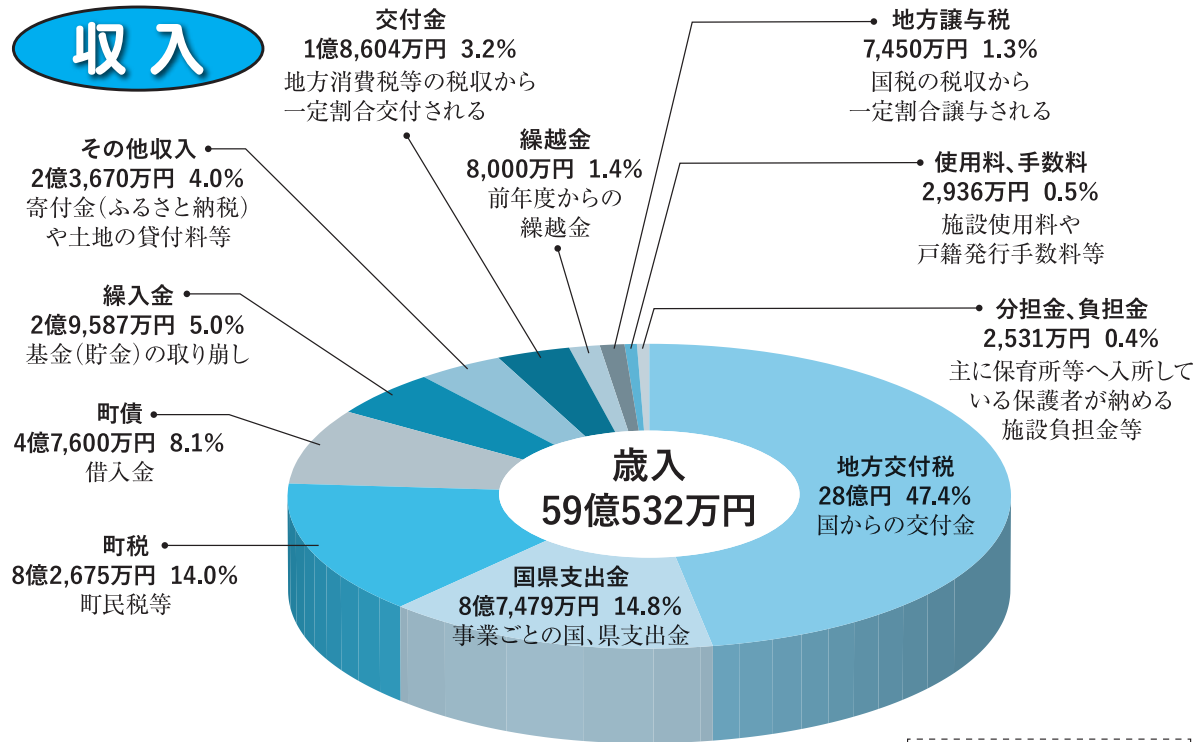


教育用コンピューター整備事業 518万円
～ 学校に配置するコンピューターの更新 ～



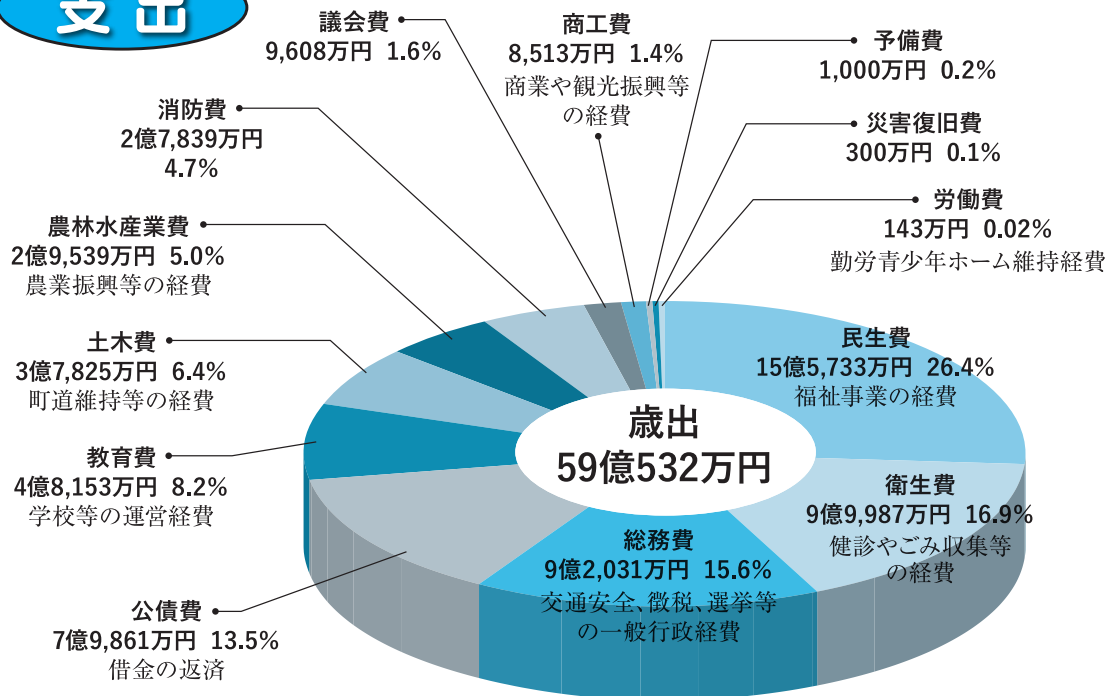
一般会計予算の内訳

収入



※四捨五入により合計が合わない場合があります。

支出



町の運営に必要な基本的経費である一般会計予算は、昨年度と比べて2億5,252万円増の、59億532万円となりました。

新規事業としては今年度町制施行130周年の年となることから、記念式典や記念事業が実施されます。商工業振興では、設立された地域商社による地場産品の開発や販売、PRへ支援を行います。

子育て・教育では、病後児保育を実施する施設へ支援を行うほか、斗川小学校に配置されているコンピュータを新しいものに更新します。

「11ぴきのねこのまちづくり」では、青い森鉄道の電車に11ぴきのねこをラッピングして三戸町のPRを行います。

農林業では、近年農作物に被害を与える例が増えている野生動物対策への支援を実施します。

そのほか、新たな消防ポンプ車の導入や町道改良など、身近なまちづくりにも配慮した予算編成になっています。

予算の概要

平成31年度 予算特別委員会 私たちはここを チェックしました!



主な質疑

一般会計

固定資産税増収の理由は?

Q 工藤範光委員

歳入の固定資産税が1,200万円増となっているがその理由は何か。

A 税務課長

土地の転用、家屋の新築、固定資産税軽減の終了などにより増と見込んでいるもの。

職員時間外手当6倍増の理由は?

Q 久慈聡委員

職員の時間外手当が30年度の6倍の1,700円となっている理由は。

A 総務課長

4月の県議会議員、6月の県知事、7月の参議院議員、来年3月の町議会議員の各選挙にかかる時間外手当である。

移住支援金とは何か?

Q 佐々木和志委員

移住支援金100万円の具体的な内容は。また対象が東京23区に限定されるのはなぜか。

A まちづくり推進課長

東京23区の一極集中を是正し、地方への移住を促す、国が考えた事業。県の求人サイトに登録された事業所へ就職すると、単身60万円、2人以上の世帯100万円が支援される。県内では40市町村のうち37市町村が実施予定である。

地域商社への補助金の内訳は?

Q 久慈聡委員

地域商社運営補助金は運営経費というが、その内訳は。また来年以降の運用は。

A まちづくり推進課長

人件費、商品開発費、広告宣伝費、事務所経費などを町側で試算した額である。自立運営までの期間は、国の地方創生推進交付金を活用して支援していく。

病後児保育事業はどのように行うのか?

Q 山口菊男委員

病後児保育は町民の願いであり、これで安心して子どもを預けられるが、どのように行うのか。

A 住民福祉課長

病後児保育は、例えばインフルエンザの場合、熱は下がったがまだ登校してはいけないといった場合に、子どもを預け、保育士と看護師に専用の部屋で見てもらうもの。

医師の診断、所見が必要なので、すぐに利用できるものではない。

鳥獣被害への対策は?

Q 大平憲男委員

近年は、クマよりもシカによる被害が目立っているが、狩猟の免許を取ろうという人はいないのか?

A 農林課長

最近の鳥獣被害を見ると、狩猟免許を持つ鳥獣被害対策実施隊員の増員を願っている、さまざまな手だてを

行っているが、なかなか増員につながっていない現状である。

空き店舗補助金の額は適切か?

Q 佐々木和志委員

空き店舗活用事業費補助金が、1件の上限が100万円であるのに対し、予算が100万円である。これを超える申し込みがあったらどうするのか。

A まちづくり推進課長

昨年度の活用実績がゼロであったことから、せめて一件でも実現したいということに計上した。これを超える場合は補正予算をお願いしたい。

平成31年度の発掘予定地は?

Q 船場清治委員

三戸城跡発掘調査の賃金について、どこか場所の発掘を予定しているのか、また、もし国の指定を受けた後は発掘をやめるのか。

A 教育委員会事務局長

調査予定地は本丸跡で、

公衆トイレ付近とイベント広場の一角。国指定を受けた後についても、城跡の全容解明に向けて、継続調査を行う。

簡易水道事業特別会計

簡易水道施設の

新設について

Q 澤田恵委員

蛇沼地区の簡易水道は、十数年前に寄生虫虫が出て急ぎよる過膜を設置した。毎年これに費用がかかるなら、新たな施設を考えてはどうか。

A 建設課長

ろ過膜の交換は必要であるが、他の施設から見ればまだ新しい施設であるから、新設は考えていない。

介護保険事業特別会計

介護予防事業費減額の

理由は？

Q 佐々木和志委員

健全な介護保険事業運営のためには、徹底した介護予防しかないが、介護予防事業の予算が減額になって

いるのはなぜか。

A 健康推進課長

平成30年度は外出支援や、自動車の購入があったことがひとつ、そして、介護認定者数の減少に伴い給付費も減少しているため減額となった。

反対討論

大向信市委員

昨年度の170円の保険料引き上げは、新たな負担であると反対討論を行った。次の見直しまで3年続くが改善の方向に向かっているため反対する。

賛成討論

船場栄委員

必要な予算を措置し、適切に事業を運営していかなければ、当介護者、要支援者が安心して必要なサービスを受けることができなくなるとともに、介護予防の推進も図れないため、賛成する。

(賛成12・反対1で可決)

国民健康保険事業特別会計

値上げ前の説明が

必要では？

Q 山口菊男委員

担当課が国保税の値上げについて説明したというが、本来は値上げ前にするのが筋ではないか。

A 住民福祉課長

説明会を開いてということではなく、機会をとらえて国保の現状を皆さんにお知らせし、支える人が減っている医療費は増えるの、頻回受診は控えましようなど、呼びかける取り組みを進めていく。

三戸中央病院事業特別会計

赤字なのに職員の手当を増額するのはなぜか？

Q 久慈聡委員

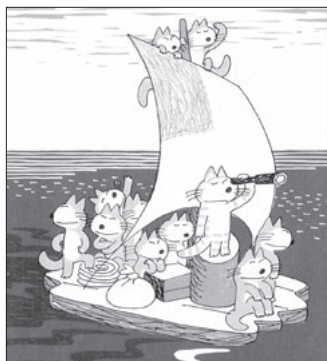
赤字の状態であるのに、残業手当、給料のほか諸手当が高くなっているのは病院の経営としてどうなのか。

A 病院事務長

赤字予算ではあるが、収入の確保と経費の削減に努める。また手当については、働き方改革や職員不足を考えれば、諸手当をきちんと計上しなければならない。

特別会計予算額

会計名		新年度予算額	前年度比
学校給食共同調理場		3,974万円	1.6%減
簡易水道事業		4,717万円	0.3%増
下水道事業		1億9,908万円	15.1%減
後期高齢者医療		1億2,626万円	0.3%減
介護保険		17億5,311万円	0.6%減
国民健康保険		14億7万円	3.5%減
三戸中央病院事業	収益的收入	16億3,289万円	3%減
	収益的支出	17億5,428万円	3%増



さんのへびと とらねこたいしょうの 三戸人ピックアップ特集

「農地のことなら私たちに相談を！」

～農地利用最適化推進委員の皆さんをピックアップ！～

馬場のぼる作「11 びきのねこ」こぐま社刊より



3月18日、町内各地区から選出される農地利用最適化推進委員の皆さんから、委員の活動実態や農地の現状をうかがいました。

◆参加された皆さん
農業委員会
梅田晃会長

農地利用最適化推進委員
水梨敏晴委員(旧三戸地区)
船場 敏委員(旧留崎地区)
湊 舟廣委員(旧斗川地区)
藤澤寿樹委員(旧猿辺地区)

◆議会だよりは読んでいますか？

水梨委員「毎回楽しみに読んでます」

◆推進委員の活動について教えてください

梅田会長「農業委員会が行う農地利用の集積・集約や遊休農地の発生防止、解消、農地の売買や貸借などの事務のうち、現地調査を主にを行うのが推進委員の業務です」

◆農地のあっせんは年間どのくらいありますか？

梅田会長「5件くらいある。いきなり売買ではなく、貸借から始めるケースが多い」

◆委員の活動で困っていることはありますか？

梅田会長「GPSなどの機器があれば、農地の境界など、間違いなく正確な調査ができる」

水梨委員「よそでは調査用のタブレット端末の導入が普及している」

佐々木議員「導入できるのであればやるべきですね」
湊委員「いずれは無人トラクターにも使えるかも」

◆町や議会へご意見や要望はありますか？

船場委員「島根県の海士町では、UI-Jターンした人に3年間支援を行い、移住者が増えている。議員の皆さんもぜひ視察して町の農業者増につなげてほしい」

◆広報編集委員から質問は？

佐々木議員「耕作放棄地が全体の5%ある中、町内の人間だけではどうにもならない。町外からの移住定住と1次産業を結びつけるまちづくり施策の推進を、ぜひ農業委員会から町へ要望していただきたい」

梅田会長「農地のあっせん先には、町外の人や会社組

織も見られる。しっかり管理していただけるなら進めたい」

船場委員「不便な農地から放棄地になっていく。町道の舗装がよくなれば借り手も増えるのではないか」

※推進委員との区別のため、広報編集委員の表記は議員としました。

◆取材を終えて

人口減少や後継者不足により、耕作放棄地が増えていきます。

これは全国的な問題であり、一朝一夕に解決できるものではありませんが、委員の皆さんの地道な活動が大きく実っていくよう、農業施策に関しても議員一同さらに勉強してまいります。

広報編集委員長

船場 清治

山口 菊男 議員



Q1

農業施策の今後について

人口減少が進む中、若い力と高齢力を生かし、基幹産業である農業の充実強化に取り組む必要があることから、次の項目について伺います。

- ①労働力の減少に対するIoT、AIの活用
- ②農業世帯数減少の歯止め策
- ③ブランド化、6次産業化の現状と今後
- ④法人化、集団営農推進の取り組み
- ⑤耕作放棄地対策
- ⑥重点振興作物とは何かと今後
- ⑦小規模農家への助成措置
- ⑧産地間競争を勝ち抜き取り組み

Q. 農業世帯数減少の歯止め策は？

A. 国の事業の活用で24名就農した

A 松尾町長

①国ではスマート農業の技術確立に向けた実証実験を進めている。

当町でもドローンによる水稲への薬剤散布や、発情監視システムによる牛の繁殖管理などに活用されている。

②国の農業次世代人材投資事業により、平成24年度からの6年で24名が後継者として就農している。

今後でも後継者の掘り起こしに努める。

③現在酒米のブランド化に取り組んでおり、新品種「吟烏帽子」の試験栽培を開始した。

また、三戸精品の首都圏などへの販売をめざし取り組んでいる。

④町では経営合理化の研修会を開催しているほか、中山間地域等直接支払交付金を活用して共同作業する集落協定があるた

め、法人化、集落営農化のモデル地区を設定し、推進したい。

⑥ブランド化を推進している酒米や、労働力軽減が図られるピーマンなどの軽量作物を重点振興作物にしている。

⑦個人による農業には限界があるため、今後は集落営農や法人化を進め、地区全体の農業振興への支援を行いたい。

A 梅田農業委員会会長

⑤農業委員、農地利用最適化推進委員による耕作放棄地の管理

指導、農地利用状況の確認、農地相談など行っているほか、農地中間管理機構と連携し集積・集約化による活用継続を進めている。

Q2

学校教育・社会教育について

教育格差のない子どもも学校教育と、健康で心豊かな生活に必要な社会教育について次のとおり伺います。

(1) 学校教育

① 貧困家庭の実態と取り組み

② いじめの実態

③ 授業に追いついていけない児童・生徒対策

④ つまずき児童、生徒対策

⑤ 保護者からの要望、苦情の取り組み

(2) 社会教育

① 公民館講座の状況と今後の課題

② 社会教育関係団体の今後と課題

③ 生涯スポーツ社会への取り組み

④ 社会教育施設の複合化、集約化の取り組み状況

A 友田教育長

(1)

① 生活保護世帯等には就学援助

制度により学用品、給食費、修学旅行費等を支援している。

② 組織的かつ系統的対処することで、より早期に、かつ細やかに対処している。

③ ④ 通級指導教室の設置や教育チューター、特別講師、情報教育支援員などの職員の配置、インクルーシブ教育システムにより、個

に応じたきめ細やかな指導・支援を行っている。

⑤ 校長の指揮のもと、教職員が連携して適切な対応をとっているほか、アンケートによる学校評価をもとに教育計画を立てている。

(2)

① 平成30年度は書道、フィットネスなど14講座を開設し、延べ1,045人が受講している。

② 文化協会など10団体への補助金の交付や、団体事務の円滑化へ指導、助言を行っている。

各団体とも会員の減少、高齢化が課題であり、引き続き人材育成支援したい。

③ 町民歩け歩け運動などのイベントの開催や支援によりスポーツ人口の拡大と日常化を図っているほか、体育協会への補助をとおし、各種大会への選手の派遣や教室の開催など実施している。

④ 各施設とも町民の多種多様な活動に使用されている。

今後とも利用状況や特性を踏まえて効率的な運用に努める。



船場 米議員



Q1

三戸町の農産物の6次産業化について

三戸町の基幹産業である農業をより豊かにするため、また、リンゴの三戸ブランドをより強固にするためにも6次産業化が必要である。

三戸町の果樹を使用した加工品を、ふるさと納税の返礼品としたり、個人で販売したりしているが、生産機械は古く効率が悪いのが現状である。

今後の生産販売に関して町はどのように考えているのか。

A 松尾町長

町の6次産業加工品の代表がリンゴジュースである。年間生産量は1リットルビン6万6千本であり、三戸精品を販売する

Q. リンゴ加工場の新設は？

A. 可能性を調査している

地域商社でも重要な商品と位置付けている。

現在加工施設が3か所あるが、設備の老朽化や、デザイン性の高いビンに対応できないといった問題があるため、施設の更新の可能性を調査している。

再質問1

老朽化した3か所の加工場を統合した新たな施設を作ることが最適ではないか。

A 農林課長

統合は合理的である。既存の3施設の代表者や利用者の合意が前提となるため、継続して意見をお聞きしていきたい。

再質問2

ふるさと納税返礼品のリンゴジュースの本数は、またその位置づけは。

A まちづくり推進課長

平成29年度実績では、180

ミリットルビンから1リットルビンまで5種類合計5千313本となっており、平成30年度は平成31年3月時点でこの数を上回っている。リンゴに次いで第2位の人気で寄付額の一割を占めている。

再質問3

三戸精品のリンゴジュースは三戸で生産されているのか、三戸でないのであれば理由は。

A まちづくり推進課長

南部町で生産している。ワインボトルと同じ形のビンの取り扱いができること、栓の主流がスクリュータイプとなっており、それに対応するため。

まとめ

三戸町の農作物は、三戸町で加工し、三戸町が主体で販売するのが本来の形である。地域商社の機能を後押しすることや品質の統一化のため、ま

たジヨミやプラム、ブドウ、モモなどの果樹製品の開発加工に対応することで雇用にもつながるため、ぜひ新しい施設について前向きに検討していただきたい。

Q2

農業体験修学旅行受入について

現在、三八地区の農業体験修学旅行受入れについては三八地方農業観光振興協議会が年間2,000名前後の生徒を受け入れている。

同協議会は八戸市南郷区、三戸町、田子町、南部町、階上町で構成されているが、加入している農業民泊開業農家は99戸と十分な戸数ではなく、1回あたりの受入れ人数も300人程度と、それ以上の規模の学校から要望が来ていますが受入れ困難な状況下にある。

この状況を三戸町としてはどのように考えているか。

A 松尾町長

受け入れを行っている「さんへのホームステイ連絡協議会」の会員は、高齢化などにより減少傾向にあることから、安定した受入れ継続のため、回覧による

募集案内、農家が集まる場においての周知活動を行っているが、繁忙期の受入れ対応などの課題もあり、新規農家の確保が困難である。

今後所得向上など、受入れのメリットを説明し、受け入れ農家の掘り起こしに努める。

再質問1

受入れ農家のメリットとデメリットは何か。

A 農林課長

メリットは、受け入れ後も生徒やその家族との交流が続き、農家の意欲向上や生きがいの創出につながっていることのほか、宿泊料による所得の向上がある。デメリットは、繁忙期の対応による農作業の遅れがある。

再質問2

受入れのために必要な住宅の改修について、町では支援を行っているか。

A 農林課長

住宅のリフォーム等については、農業所得向上に向けた取り組みを支援する「三戸町農業レベルアップ事業」の活用が可能となっている。

大平 憲男 議員



Q1 三戸中央病院の改善 について

- ① オーダリングシステムが導入されたが、チェック体制は。
- ② 看護師、看護補助員の勤務時間。
- ③ 平成29年、30年の看護師、技師等の募集の結果は。

A 松尾町長

① 医師からの処方や指示がそれまでと異なる場合、看護師が医師に確認するほか、注射などは看護師2名による二重確認をしている。薬剤処方では、数量が許容範囲を超えるとシステムから警告が表示され、確認できる。② 看護師の勤務時間は、外来が日勤と当直。一般病床が日勤と夜勤の二交代制。療養病床が日勤、準夜勤、夜勤の三交代制。看護助手は日勤、準夜勤のほか、

Q. 慢性的な看護師不足をどう考えているか？

A. モチベーションを高める方向を見つける

早番勤務がある。

- ③ 平成29年度の4月1日付け正職員の採用は、看護師が募集5人に対し2人。看護助手が募集1人に対し1人。技術職は募集3人に対し0人。随時募集では年度途中に看護師1人、医療技術職1人。

平成30年度は、看護師が募集5人に対し3人、医療技術職は募集5人に対し3人。年度途中では看護師3人、准看護師4人を採用している。正職員不足の場合は非常勤職員により対応している。

再質問1

看護師不足が慢性化し、皆さん疲弊しているように感じる。募集をかけても応募が少ない状況を町長はどう考えているか。

A 松尾町長

地方の自治体病院の看護師不足はどこも同じ状況であるが、労働のバランスをとり、働

くモチベーションが高まるような方向を見つけていきたい。

Q2

簡易水道について

杉沢地区簡易水道施設の整備状況はどうなっているのか伺います。

A 松尾町長

青森県営三戸地区中山間地域総合整備事業により現在まで、深山の水源地从ら笹沢配水池までの導水管、笹沢配水池から杉沢小中学校付近までの排水管の改修を終えた。

今後は笹沢配水池改修、猿辺川にかかる橋への水道管の設置、県道への配水管敷設を行い、平成32年度竣工の予定。

Q3

城山公園の今後の課題、整備について

二戸市で九戸城跡発掘担当者の報告と、奈良大学の千田嘉博教授による講演を聞いた。この講演の内容から、三戸城跡である城山公園の今後の整備について伺います。

- ① 二戸市では30年間発掘調査を行っている。三戸城跡の国の史跡指定には、発掘調査や出土資料が、まだまだ足りないのではないか。
- ② 九戸城の研究や、NHK大河ドラマの時代考証にも携わってきた千田先生を招き、アドバイスをもらう考えはないか。
- ③ 今後、桜の名所として整備するのか、もしくは史跡指定のために発掘を進めるのか、どちらに重点を置くのか。

A 友田教育長

- ① 教育委員会では平成16年から11年かけて城跡全域の保存状況を確認した。

平成27年度からは屋敷跡や石垣以降の精密調査に着手し、平成29年、30年に調査した大御門跡の調査では、南部氏関連の城跡で最大規模の門跡を検出し成果を上げた。

また最先端の地形調査により3D地図を作製するなど成果

を積み重ねている。

文化庁からは平成31年度の調査結果を踏まえ、史跡指定について何らかの結論を示すとの見解をいただいている。

- ② 教育委員会では平成31年度に三戸城跡の魅力発信と調査研究のため、千田教授を招いての歴史講演会開催を予定している。教授からは講演だけでなく、発掘調査への指導、助言をいただけるよう調整したい。

A 松尾町長

- ③ 城山は歴史と自然を感じることができ、町の重要な財産でありふるさとの宝。これからも観光と歴史が結びつくような整備を行う。

再質問1

市と町の差があるが、二戸市は調査や研究に常に携わる作業員や職員の数が多い。

史跡指定を目指すなら、少しずつ調査するのではなく、本腰を入れて早く調査し、結果を出すべきではないか。

A 松尾町長

町の費用だけで大規模に調査するのは現実的ではない。調査を継続し、史跡指定を受け、その後も長年にわたって調査研究を進めて三戸城跡を世に出す事業となる。

久慈 聡 議員



Q1 消防団維持管理について

昨年12月定例会において、役場の危機管理体制について質問した。今回は災害発生時等に必要不可欠な団体行動を行う消防団について、町はどのような対応をしているのか。

- ①消防団の設備について
- ②消防団員の安全性の確保について
- ③消防団の管理、維持、継続について

A 松尾町長

①町には19分団あり、全ての分団に消防ポンプ車、もしくは小型動力ポンプ積載車を配備。屯所は詰所付きが8か所、車庫のみが11か所。装備は防火衣、ヘルメット、手袋、無線機、小型発電機、投光器を全分団に配備

Q・三戸中央病院のさらなる意識改革、組織改革が必要では？

A・地域のため、患者のために働く 病院の風土を作る

②団員が安全に活動できるよう、活動服のほか、安全靴や耐切削手袋、ヘッドライト、ライフジャケットなどを必要数配備している。

③団員数は1月末で448名と定員に対し約95%の充足率である。

消防団は地域住民の生命財産を守るため献身的に活動しており、地域防災体制の中核を担うことから、団員の安全確保マニュアルを策定し、周知徹底するほか、住民、消防団、町が一体となり地域に密着した消防団を維持継続する。

再質問1

団員の安全確保は重要であるが、災害現場で使用している無線機が、一部故障で使用できない、また替えがないという話を聞か、町では把握しているか。

A 総務課長

22台の無線機が配備されているが、昭和61年に導入したもののうち、3台が老朽化やバッテリー劣化により修理不能と把握している。

再質問2
ハインリッヒの法則では、一つの重大事故の裏には29の軽微な事故があり、その裏には300のヒヤリハットがあるという。これを防ぐため、無線機は早急に導入すべきではないか。

A 総務課長

無線機は現場と消防本部が連絡できるよう町の防災無線を使っているため、更新のためには防災無線の機器更新が必要となる。単独の電波の無線も考えられるが、望ましい形を消防団、消防署と協議したい。

A 松尾町長

防災無線の更新、マニュアルによる安全の確保にしっかりと取り組む。

Q2

三戸中央病院の今後について

三戸中央病院のホームページには「信頼され、満足のいく病院として、患者中心の診療を行います」などの3つの病院理念と、「対象となる方々の意思を尊重し満足していただける看護を提供します」などの看護理念が掲載されているが、三戸中央病院へのクレームは一向に減っていない。

慢性的な人員不足から職員への正しい教育がされておらず、根本的な意識改革が必要と考えるが、今後の三戸中央病院のあり方についてどう考えているのか。

A 松尾町長

病院では県や国の支援を受け、医療環境改善会議の開催など勤務環境改善への取り組みを進めている。今後働きやすい環境を整備し、信頼される病院であるよう努力し、地域医療を守っていく。

再質問1

病院職員の離職率は何か。

A 松尾町長

看護師、医療技術職合計で、平成29年度は離職者6名、離職率7%、平成30年度は12月現在で離職者5名、離職率6%。

再質問2

毎月の運営連絡会議や、年1回の経営改善推進委員会を開催しているが、残業が多いなどのクレームを聞く。

改革プランに基づいていると思うが、そのための手法の変更、対策、組織化ができていないか、また医師への強い要望、職員不足による教育の低下などにより組織運営ができていないのか不安である。知らないうちに独自のルールが出来上がり、病院利用者へ苛立ちの矛先が向かっているのか。

病院職員はみんな頑張っているのにクレームばかりでは私も職員も不愉快である。

企業風土を変えるため、きちんとした統率力を持って意識改革、組織改革を進めるべきではないか。

A 病院事務長

大変衝撃的なコメントがあった。病院の実質の経営は病院の中であつたりと完結しなければならぬ。管理者として議員の提案を受け止め、医療勤務環境改善会議等の有効的な運用が進むよう、地域のため、患者のために働く病院の風土を作っていく。

大向 信市 議員



Q1

町が現在行っている財政支援・町の事業の見直しと今後の課題について

Q. ラジコン公園を果樹の販売施設にできないか？

A. 農家からぜひにという声があれば検討する

考えがあるのか。

A 松尾町長

① ラジコン公園の年間利用者は、平成21年度の787人をピークに減少傾向にある。

しかしながら、現在のコース状況は緊急に改修の必要もなく、定期的なレースイベントなどで愛好家から親しまれている。

管理に係る経費も少額であるため、当面は関係者からご意見をいただきながら継続運営していく。

② まちの楽校は、中心商店街活性化の拠点として、これまで「100円商店街事業」「宅配事業」「達人工房」などの事業を行っているほか、町保健師による健康教室や三戸警察署による特殊詐欺防止講座の開催と、町民の集いの場としての機能を

③ 町商店街活性化にぎわいづくり、経済効果を高めるためにも、商店街への支援策が必要と思うが、町長には新たな

發揮している。

補助金については事業内容を精査し、適切な交付を行っており、今年度は5%の減となっている。

今後、事業計画について詳しくヒアリングし、自立運営の可能性も探りながら適切に支援する。

③ 町では元氣な商店街づくりを支援する「商店街元氣事業補助金」により、まける日や夏まつりに支援している。

また、商工会では経営指導員による指導や各種セミナーの開催などで国の補助金申請の支援を行っている。

今後、商店街の皆さんが自らの魅力向上を図る事業へ支援するほか、国、県、商工会連合会など各種団体の事業の有効活動が図られるよう商工会等と連携

し、活性化に努める。
町の事業については絶えず見直しを行い、限られた財源を有効活用する。

再質問1

ラジコン公園は南部町、田子町を通る農道上にあり、また国道4号のすぐそばである。周辺の梅内地区や目時地区はリンゴ農家が多い。リンゴをうまく活用した試食・販売コーナーなどに有効活用できないか。

A 松尾町長

ラジコン公園の存廃という単純な話ではなく、農家からぜひにという声が聞かれれば検討しなければならない。

今後活用を考える場合には、利用したいという人の考えや意見、団体としての考え方をしっかり伺ったうえで議論すべきである。

再質問2

まちの楽校ではさまざまな事業で収益を上げているが、補助金を出さなければならぬのか。

A まちづくり推進課長

まちの楽校への補助は経営への支援ではなく、商店街活性化

のために、民間事業者がやらない事業の部分に補助を行っているものである。



ラジコン公園近くのリング園



開設から10年を迎えるラジコン公園

議案審議

第 480 回定例会に提出された議案と審議結果

議案番号	件 名	審議結果
第 1 号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】 県人事委員会勧告により職員同様議員の期末手当支給割合を 0.05% 引き上げるもの	原案可決
第 2 号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 【概要】 消費税率の引き上げに伴い、町施設の使用料等を改定するもの	原案可決
第 3 号	三戸町いじめ問題対策審議会条例の制定について 【概要】 いじめ対策推進法に基づき、審議会を設置できるようにするもの	原案可決
第 4 号	三戸町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】 国、県の規則改正に準じ、職員の時間外勤務時間の上限等を定めるもの	原案可決
第 5 号	三戸町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】 修学や国際貢献活動を行う職員が 3 年間身分を保有できるようにするもの	原案可決
第 6 号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】 農業委員・農地最適化推進委員の報酬に能率給を上乗せできるようにするもの	原案可決
第 7 号	三戸町特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】 県人事委員会勧告により職員同様特別職の期末手当支給割合を 0.05% 引き上げるもの	原案可決
第 8 号	三戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】 県人事委員会勧告により職員の期末手当支給割合を 0.05% 引き上げるもの	原案可決
第 9 号	三戸町町税条例の一部を改正する条例案 【概要】 軽自動車税の名称を「種別割」とし、取得税を廃止し「環境性能割」設けるもの	原案可決
第 10 号	和解及び損害賠償の額を定めることについて 【概要】 三戸中央病院での医療事故発生に伴う和解と損害賠償額について議決を求めるもの	原案可決
第 11 号	三戸郡福祉事務組合の解散について 【概要】 組合施設の民営化実施計画に伴い解散するもの	原案可決
第 12 号	三戸郡福祉事務組合の解散に伴う三戸郡福祉事務組合立やまばと寮の財産処分について 【概要】 委譲先であるサポートセンター虹へ建物や車両などを無償譲渡・貸付するもの	原案可決
第 13 号	三戸郡福祉事務組合の解散に伴う財産処分及び事務継承について 【概要】 解散後の事務のすべてを五戸町に承継させるもの	原案可決
第 14 号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について 【概要】 南黒地方福祉事務組合解散に伴う団体数減少と規約の変更について議決を求めるもの	原案可決
第 15 号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について 【概要】 南黒地方福祉事務組合解散に伴う団体数減少と規約の変更について議決を求めるもの	原案可決
第 16 号	三戸町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 【概要】 平成 31 年 3 月 31 日で任期満了となる藤沢圭氏を再任するもの	原案可決
第 17 号	平成 30 年度三戸町一般会計補正予算（第 8 号） 【概要】 各種事務費の精査による予算の減額、町税等の収入の増のほか、新葬祭場負担金や介護保険繰出し金、八戸圏域連携中枢都市圏連携事業負担金などの増額により、歳入歳出ともに 7,531 万円を減額	原案可決
第 18 号	平成 30 年度三戸町営簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号） 【概要】 歳出 168 万 7 千円の減額に伴う、町一般会計からの繰入金歳入を同額減額	原案可決
第 19 号	平成 30 年度三戸町下水道事業特別会計補正予算（第 1 号） 【概要】 事業費の減や町一般会計繰入金金の減等により歳入歳出それぞれ 172 万 2 千円の減額	原案可決
第 20 号	平成 30 年度三戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） 【概要】 保険料の減や負担金の増により歳入歳出それぞれ 443 万円の減額	原案可決
第 21 号	平成 30 年度三戸町介護保険特別会計補正予算（第 2 号） 【概要】 支払基金交付金の減や保険給付費の減等により歳入歳出それぞれ 6,212 万円の減額	原案可決
第 22 号	平成 30 年度三戸町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 3 号） 【概要】 県支出金の減額や保険給付費の増により歳入歳出それぞれ 1 億 2,314 万円の減額	原案可決
第 23 号	平成 30 年度三戸町国民健康保険直診勘定三戸中央病院事業特別会計補正予算（第 3 号） 【概要】 医業収入の減額による収益的収入の 4,566 万円の減額、給与費や経費の減額により収益的支出 1,481 万円の減額	原案可決

議員活動レポート



三戸町議会議員は総務文教、民生商工、建設農林の常任委員会のいずれかに所属しており、議会閉会中に各委員会が担当する分野について調査を行っています。また、さまざまな研修会にも参加し、議員の資質向上のため勉強しています。

民生商工常任委員会

澤田道憲・大向信市
久慈 聡・大平憲男
澤田 恵

三戸中央病院の運営状況を調査

平成30年12月15日、三戸中央病院の経営状況、オーダーリングシステムの運用状況、病院内各施設について調査しました。

【調査場所】

・三戸中央病院

【調査結果・意見】

- ・経営改革プランの進捗よくが厳しい状況であるが、診療科目や医師の充実、またこれ以上医師が減少しないよう努力していただきたい。
- ・今後とも町民の安心のため安定した経営に努力していただきたい。
- ・医師不足と看護師不足により業務量が増え、患者へのサービスが低下する悪循環となっている。これに対応するとともに、スタッフも意識改革を。



- ・オーダーリングシステムや電子カルテについて、使い勝手の良い運用を。またセキュリティには十分配慮していただきたい。
- ・電子カルテの導入、運用にあたり、職員の十分な研修を行っていただきたい。

建設農林常任委員会

北向 敦・中村喜正
和田 忠・工藤範光

農道等の整備状況を調査

平成30年12月18日、農道等の整備状況について、担当課からの説明聴取と現地調査を行いました。

【調査場所】

- ・町道岩見ノ下線
- ・町道下道2号線
- ・町道川守田裏通り線
- ・集落道蜂ヶ崎線
- ・農道森ノ脇線

【調査結果・意見】

北向敦委員長

- ・町道岩見ノ下線、町道下道2号線については、十分な道幅を精査の上進めるとともに、陳情された案件であるため迅速に対応いただきたい。
- ・陳情・採択案件について、道路改良、側溝改良等項目ごとに台帳を整備するなどして管理しやすい体制をとっていただきたい。



また、陳情に対しての対応は、建設課で優先順位をつけ年次計画をたてた上で計画的に実施するよう検討いただきたい。

行政視察報告

活性化対策特別委員会

山形県金山町・秋田県美郷町

報告者 委員長 澤田 道憲

平成30年10月4日から5日にかけて、住民との意見交換会での結果をふまえ、景観行政と宿泊施設の管理運営について、議員全員による行政視察を実施した。

1 山形県金山町

(イ) 金山町の景観行政

白壁を用いた金山型住宅、石積み水路、そして水路への錦鯉の放流など、景観施策に意欲的な町として、多くの景観コンクールでの受賞実績を有する。景観づくりは地域住民と行政が一体となって進めており、まちづくり活動への積極性が感じられる。

(ロ) シェーンスハイム金山の運営について

日本初となる「情報公開条例」を制定したことで、行政視察が殺到したが、宿

泊施設がなく対応に苦慮していた。

そのころ、山形新幹線の開業に合わせ、JR東日本が東北地方に旅の拠点づくりを考えていたことから、金山町が51%、JR東日本が49%の出資による公社を設立。鉄骨6階建てのリゾート宿泊施設「シェーンスハイム金山」を平成10年7月にオープンした。

2 秋田県美郷町

(イ) 美郷町宿泊交流館「ワカス」の管理運営

この施設は、廃校舎を改修し、木造平屋造りで51人が宿泊可能な施設として平成27年に完成した。宿泊棟のほか、研修棟、アリーナ、多目的グラウンド、トレーニング室などを備え、スポーツ合宿などにも対応できる施設である。

(ロ) ファミリーロッジ旅籠屋秋田六郷店

全国展開している宿泊施設。本社は東京で、シンブルなロードサイドホテルとして、食事等のサービスがない分低価格であり、車での旅行者や、長期出張者に利用されている。オーナーが施設を建設し、それを旅籠屋に貸し付け、15年で初期投資分を回収するシステムであり、地域により差があるが、ここ六郷店では降雪により冬の稼働率が低くなるため年間の平均稼働率が50%でも経営は成り立っている。



第481回定例会開催予定	6月13日(木) 10:00	開会、町長による議案の提案理由の説明
	6月14日(金) 10:00	議員が議案を熟考するため休会
	6月17日(月) 10:00	一般質問（議員が町政全般にわたって町長らへ質問を行います）
	6月18日(火) 10:00	一般質問（予備日）、議案審議（条例改正など、議会の議決が必要な案件を審議し、採決します）




Facebook 配信中!




Twitter 配信中!

編集後記

日に日に城山の緑も濃くなり、過ごしやすい季節を迎えました。

今月は各学校の運動会があり、生徒数が減少する中、元気いっぱいの子どもの姿に、三戸町の大きな未来が見られました。

さて、今号に掲載の新年度予算について、3月議会ですべて議員による特別委員会を設置して審査いたしました。

行政側のくわしい説明を受け、また議員も積極的に質問を行い、無事可決されました。新しい年度が始まり、今月は年号も変わりました。私も気を引き締めて議会活動に望みたいと考えております。

（船場清治）

議会広報編集委員会
委員長 船場 清治
副委員長 北向 敦
委員 澤田 道憲
山口 菊男
佐々木 和志